

テーマ：張玉珍「三補一攻」を使った多嚢胞性卵巣症候群の治療経験

* 中医婦人科 40 年の臨床経験を持つ張玉珍教授は多嚢胞性卵巣症候群

(PCOS) に対して特別な見解と経験がある。

多嚢胞性卵巣症候群の病因病機は腎・肝・脾の働きが乱れたことでの気・血・

水の機能失調、痰湿・瘀血が産生され、生殖器を塞ぐと考える。

* 張玉珍教授の経験から、PCOS は虚実挟雑であり、病因は「腎脾気血虚弱、衝任失調」であり、治療は先に補い (3 週間弁証論治)、後に攻める (1 週間活血通利)、この周期療法で生理を整える。

* 三補一攻：

タイプ	処方 (3 週間補う、弁証論治)
脾腎虚痰湿 (肥満型)	加減蒼附導痰湯：蒼朮、香附子、半夏、陳皮、茯苓、胆南星、淫羊藿、黄耆、石菖蒲、皂角刺、白朮。
肝経鬱火 (痩せ型)	加減竜胆瀉肝湯：竜胆、梔子、柴胡、黄芩、生地黄、車前子、甘草、沢瀉、当帰、牡丹皮。生理前ニキビ+白鮮皮、土茯苓、薏苡仁、徐長卿。
腎虚肝鬱 (普通体形)	羅氏調経種子湯：菟絲子、熟地黄、当帰、白芍、女貞子、山薬、柴胡、茯苓、枸杞子、炙甘草、陳皮。肝鬱強い+香附子、

タイプ	処方 (1 週間攻める)
妊娠希望あり	当帰芍薬散加減 (疏肝理脾)：当帰、川芎、白芍、丹参、茯苓、白朮、沢瀉、黄耆、附子、烏薬、枸杞子、延胡索
妊娠希望なし	桃紅四物湯 (行気活血通経)：当帰、川芎、赤芍、生地黄、桃仁、紅花、牡丹皮、艾葉、香附子、鶏血藤。

* PCOS 患者が妊娠を確認した後、早めに安胎治療をする事が大事。

安胎方加減 (補腎健脾安胎)：菟絲子、桑寄生、続断、杜仲、熟党参、白朮、山茱萸、何首烏、白芍。

実熱+黄芩、桑葉。虚熱+女貞子、墨旱蓮。肝鬱+香附子。痰湿+砂仁。

継続的に HCG、E2、P4 を検査、妊娠中も治療を強化する。

* 治療計画としては、1 周期後に効果がなければ、2～3 周期続けて、3～6 か月効果が出る。